

6.14復興ウォークラリー

今年で岩手・宮城内陸地震発生から5年が経つことを受け、一関市では、地震を風化させない取り組みとして復興イベント「6.14復興ウォークラリー」を6月15日(土)に開催しました。一般参加者約60人、スタッフを含め計約100人が3班に分かれ矢櫃(やびつ)ダムからぶなの森まつるべ館までの距離6.14kmを歩きました。途中ではスタッフガイドによる当時の被災状況や国土交通省が取り組んだ天然ダムへの災害対策などの説明あり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



骨寺村荘園交流館にて参加者集合写真



まつるべ
祭時大橋見学通路

「FMあすも」に生出演

6月12日、一関市にある「FMあすも」があいぽーと取材に訪れました。取材では、岩手・宮城内陸地震から5年を迎えることを受け、館内で当時の写真や資料を展示していることなどを紹介しました。

地震で土砂崩れが発生し天然ダム等が形成され国土交通省がどのような災害対策に取り組み、また一関市街地を土石流から防ぐための砂防事業を説明した資料もあります。地震を風化させないための展示となっております。ぜひご来館下さい。



あいぽーと展示室で齋藤事務局長が生出演

出前講座

6月12日、昨年に引き続き、一関市内にある山目小学校の総合的な学習の一環として、「一関市と洪水」の出前講座が開催されました。当日は4年生児童約100名が参加し、講師の岩手河川国道事務所 調査第一課福田課長より洪水対策と一関遊水地事業の目的や役割などについて説明を受けました。

児童の皆さんは、一関遊水地事業を始めとした洪水対策により、一関地域がどのように守られているのか学習できたようでした。



熱心に聞く児童の皆さん

◆◆編集後記◆◆一関にもとうとう梅雨の季節到来です。毎日ジメジメ、ムシムシ気が滅入る日もありますが食中毒に気をつけてたくさん食べて元気に乗り越えましょう。キラキラの夏が待ち遠しいですね(^o^)(K)